

日高町における被災概況

合併（平成18年3月1日）以降の、日高町における被災概況は以下のとおりである。
 なお、比較的小規模な被害については省略している。

(1) 大雨・風水害等の被害

発生年月日	災害種別	災害の概況
平成18年(2006) 8月18～19日	水害	<p>北海道付近に停滞した前線に台風10号から温かく湿った空気が流入し、前線活動が活発となり、局地的な豪雨となった。</p> <p>日高地区では降り始めからの総雨量が311mm、最大時間雨量は33mm(18日4～5時)を記録、門別地区では降り始めからの総雨量が287mm、最大時間雨量は56mm(18日23～24時)を記録した。</p> <p>平賀地区では、裏手の山地崩落により住宅が押しつぶされ、1名の重傷者が発生したほか、被害総額は、2,647,927千円となった。</p> <p>高規格道路、国道、道道及び町道では、浸水や土砂崩れ等により多数の箇所で通行止めの措置がとられるとともに、門別地区では停電が発生した。又、日高地区では水道管が折損し断水となったほか、両地区において、停電による濾過機の不稼働や水源地への雨水流入による損壊等により水が濁り給水活動を行うこととなった。さらには、NTT柱の損壊等により日高地区では電話が不通となるほか、携帯電話もNTT-Docomoのみが使用可能な状況であった。</p>
平成18年(2006) 11月7日	竜巻	<p>宗谷海峡付近の低気圧から南に伸びる寒冷前線が日高地方を通過する際、積乱雲が発達し、竜巻(藤田スケールF1)を発生させた。</p> <p>竜巻により、住家2戸が一部損壊(1,300千円)、非住家2戸が全壊(400千円)、営農施設23棟(5,000千円)、農作物0.1ha(750千円)の被害を記録した。</p>

(2) 地震・津波による被害

発生年月日	震源地	マグニチュード	町内震度	被害概要
平成23年(2011) 3月11日	三陸沖	9.0	3	<p>14時46分頃、三陸沖を震源とする地震が発生、地震の規模を示すマグニチュードは9.0で阪神・淡路大震災を上回る国内観測史上最大の大地震となり、門別地区でも強い揺れが長い間続いた。東北地方の太平洋沿岸部には大津波が押し寄せ、死者15,854人、行方不明者が3,276人にのぼるなど未曾有の大惨事となった。北海道でも太平洋沿岸に大津波警報が発表され、日高管内ではえりも町の3.5mを筆頭に津波が押し寄せ、日高町でも2.7mの津波を観測した。</p> <p>町内では幸いにも人的被害が発生しなかったが、津波による住家の床下浸水が10戸、非住家の一部損壊が32戸発生するなど、水産被害を中心に被害総額は101,819千円となる被害が発生した。 命名:「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」 「東日本大震災」</p>